

造血細胞移植後における長期的な呼吸機能変化の解析

1. 研究の対象

2017 年 6 月～2024 年 7 月に当院で同種移植を受けられた方

2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

研究目的:造血細胞移植に伴う呼吸機能の低下は移植後患者の長期 ADL に重大な影響を及ぼすとされています。呼吸機能評価は一般的に一秒率と%肺活量で行われますが、一酸化炭素拡散能力(DLCO)という肺拡散能を反映した検査を追加で行うこともあり、少なくとも移植前検査としては測定が必須とされています。しかし、移植後に関しては DLCO の測定は必須とされておらず、移植後の長期的な DLCO 変化に関しては報告が限られています。移植後の呼吸機能検査の変化とその原因を解析することは、移植患者の長期フォローにおいて重要と考え、今回の研究を計画しました。

研究方法： 当院にて同種移植を受けられた方において、移植前および移植後に定期的に測定した呼吸機能検査の情報を診療録より取得し、移植後5年における呼吸機能の変化を後ろ向きに解析します。また、移植後1年以内のDLCOが低下と、年齢・移植前処置・移植後GVHD・移植後肺合併症および感染症など関連を後方視的に解析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、呼吸機能検査結果、前処置の内容、移植後の合併症などの発生状況

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 血液内科 研究責任者 新開泰宏

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上